

## 工学部マイハウスプロジェクト説明会

2010年9月24日(金)10:45~12:15、於:場所:A2-21教室

- (1)学大将プロジェクト全体の説明
- (2)マイハウスプロジェクトの説明
- (3)各ハウスからの説明(12キャリアハウス, 2ベンチャーハウス)
- (4)質疑応答

 キャリアハウスプロジェクト
  ベンチャーハウスプロジェクト

- |                                     |                                   |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 高度な研究活動を体験 | <input type="checkbox"/> 起業活動を体験  |
| <input type="checkbox"/> 12ハウスが活動中  | <input type="checkbox"/> 2ハウスが活動中 |

どちらも希望により1年次から活動できます!

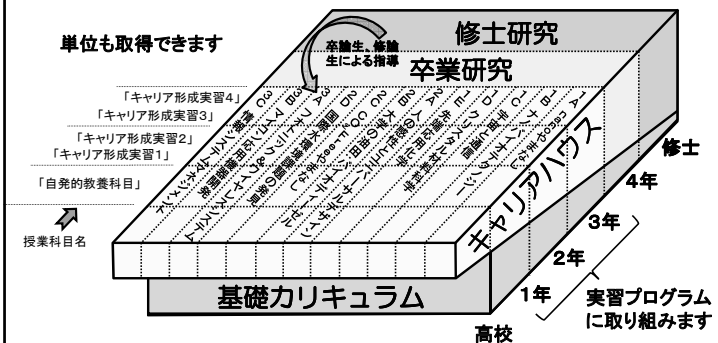
## キャリアハウス・プロジェクトとは?

- 多くの卒業生が、大学生活のハイライトとして「卒業研究」をあげています。学生の力が飛躍的に伸びるのも、友人や先輩・先生と一生の絆ができるのも、卒業研究の1年間。
- キャリアハウスは、「早く研究生活を始めたい」そんな意欲的なあなたのためのプロジェクトです。
- 昨年、学科横断的に複数の教員からなる12個の「キャリアハウス」が設立され、参加応募した41名の学生が活動を開始しました。

## キャリアハウス・プロジェクトとは?

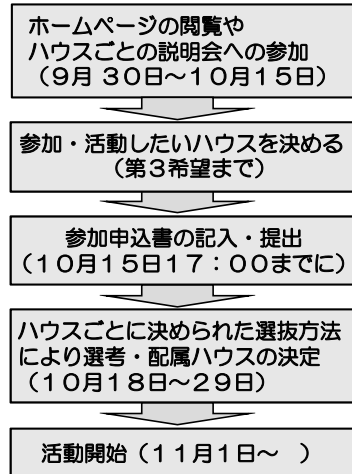
- 各キャリアハウスは、担当教員の所属によらず、工学部全体から希望・選抜された学生を受け入れます。
- 選抜学生は、キャリアハウスごとの実習プランに基づく活動を、担当教員の研究室で行います。
- 活動は、V時限などの時間外に、半期に90分程度×10回~14回行います。
- 基本的には3年間同じハウスに所属して研鑽を積みます。卒業研究は、履修規定に従い、所属学科・コースの研究室で履修します。

## キャリアハウス全体図





## 申込・選抜・配属の流れ



## こんなひとにオススメ！！

- 「何かやってみたい！」と思って入学したけれど、いまいちやってみたいことが見つからない。
- 教室での座学が多くて、いまいち張り合いがない。もっと色んなことをやってみたい。
- 大学生活には慣れたけど、このままの生活で高学年になってゆくのは、なんとなく不安。

キャリアハウスで活動すると、

**きっと、あなたの実力は伸び続けます！**



## 活動に参加して心に留まったこと (自発的教養科目レポートより)

- 普通に大学生生活を送っていたら、こんな素晴らしい機会はなかった
- 他の学生よりは研究というものに近づけた
- 他の人よりも一歩先に知識を深められたのは、この活動の良さである
- 社会人になる前に必要な知識やコミュニケーション能力を養うことが出来ていると思う
- 挑戦することは自分にとって大きな糧となるので、がんばっていききたい
- 自分の苦手な点を改めて考えさせられた
- ものづくりには助け合いと忍耐力が必要であると実感した
- 先生方の熱意を感じ、自分でもビックリするくらいのもり込んで勉強することができた
- 活動を通して、多くの教員と関わることができた
- 研究室で学ぶことで、今やっている勉強の必要性をひしひしと感じ、学習意欲も上がった
- 勉強以外にも、研究室の雰囲気や先輩の話なども聞くことができて良かった
- 他学科の学生と話す機会があり、大変貴重な場を得ることができた

.....



## Q & A

- Q) 参加したいけど、V時限は部活動があるので時間がありません。  
A) 空いている時間帯での活動も可能です。あらかじめ希望ハウスの先生に相談して下さい。
- Q) 2年生や3年生からでも参加できますか？  
A) ハウスに欠員があれば、CNSで募集を掲示する予定（希望者多ければ選抜あり）ですが、1年生からの参加が望ましいです。
- Q) 途中で別のハウスに移れますか？  
A) もとのハウスと受け入れるハウスの双方が認めれば可能です。
- Q) 途中でやめれますか？  
A) 可能ですが、担当の先生と十分に話し合ってください。

## キャリアハウス nanoやまなし

- ・ 先端研究 **ナノテクノロジー** にふれられる！  
5つの分野のナノテクノロジー



- ・ 参加教員は、電気電子システム工学科15名  
機械システム工学科3名
- ・ 参加学生は、電気電子システム工学科2年3名  
伊坪正貴 岸本拓馬 大長規浩

### 加工計測

(孕石・居島・内山和)



原子の世界を観察できる装置

- ・ 微細加工技術
- ・  $\mu\text{m}$ (マイクロメートル)や $\text{nm}$ (ナノメートル)領域の計測

### デバイス

(加藤孝・小野島・矢野・加藤初)

デバイスの作製風景

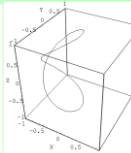
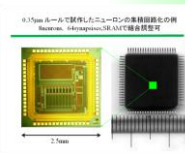


作製したデバイスの測定風景

- ・ 半導体素子の設計・作製
- ・ 微細加工製造技術

### 機能

(鳥養・白木・内山智)



電子のスピン運動の軌跡

- ・ 原子の構造の解析
- ・ 新たなデバイスの開発

### 材料

(松本・鍋谷・村中・垣尾)

LEDの発光スペクトルの観察



デバイスプロセスの風景

- ・ 半導体技術(LED、太陽電池 etc)
- ・ 圧電材料を活かした研究

### 共通基礎

(堀・小林・宮田・坂野)



リバーエレテックを見学

- ・ 4つのグループの疑問についてディスカッションをする
- ・ 企業見学

### “nanoやまなし”

#### ハウス説明会

日程: 10月14日(木)

時間: 16:30~18:00

場所: T1-21教室

内容: ハウス教員の紹介  
ハウスの詳細な説明

学生定員: 4名程度

定員を超えた場合の選抜方法

・書類選考または面接を行う

## ナノバイオテクノロジーとは？

⇒ナノテクノロジーとバイオテクノロジーをつなぐ技術

ナノ  
テクノロジー

バイオ  
テクノロジー

ナノとバイオの異分野融合

- ◆ ナノテクノロジー：nanotechnology  
物質をナノメートル (1 nm = 10<sup>-9</sup>m) の領域において、自在に制御する技術
- ◆ バイオテクノロジー：biotechnology  
生物学の知見を元にし、実社会に有用な利用法をもたらす技術

出典：フリー百科事典 Wikipedia

## 異分野の融合は新分野を産み出す

ナノバイオという融合分野に関する統合的能力を持ったエキスパートの養成を目指す。

## 何が学べる？

### キャリアハウス「ナノバイオテクノロジー」

**【知識】**

- ・生命活動の化学的原理
- ・生体活性物質の種類と機能
- ・バイオセンサの原理と種類
- ・機能性色素の光化学
- ・X線構造解析の原理
- ・微生物培養工学
- ・分子マシンの設計

**【技能】**

- ・新規化合物の設計・合成技術
- ・物質同定に関する構造解析
- ・各種分析化学的装置の取り扱い
- ・光機能性材料の光化学的特性評価
- ・生体関連物質の機能評価
- ・微生物培養の手法
- ・バイオセンサの作製方法
- ・分子マシンの機能評価

といった専門的なものだけでなく…

- ・研究室の雰囲気を一足早く肌で感じ取ることができる
- ・卒論生、及び修士・博士課程の先輩たちとの交流ができる
- ・講義内容の復習や、実験による理解度の向上が図れる
- ・自分で問題を解決しようとする能力が身に付く

講義との両立や、少ない知識での実験・研究は  
大変ではあるが、大きな達成感が得られる。

## ナノバイオテクノロジー参画教員及び担当分野

生体機能材料の創製

新森 英之(代表)(生命工)  
小川 和也(機械工)  
小久保 晋(生命工)

生体機能物質の分析

楠木 正巳(副代表)(生命工)  
久本 雅嗣(ワイン)

微生物機能の活用

野田 悟子(生命工)  
大槻 隆司(生命工)  
中川 洋史(生命工)  
山村 英樹(生命工)

ナノバイオテクノロジーで活動中の2年生

T09BT004 大森 和真(生命工)	T09BT033 森 朋代(生命工)
T09BT019 内藤 優(生命工)	T09BT038 深津 啓太(生命工)
T09BT026 深堀 龍馬(生命工)	T09WP005 中澤 美帆(ワイン)

受け入れ人数：2名程度  
選抜方法：GPA  
ハウス説明会：10月14日(木)16:30～ T1-22


## キャリアハウス 宇宙と通信

～限らない宇宙との通信のために～



## これまでの活動

- アマチュア無線免許の取得
- 東京工業大学見学
- アンテナ設営
- 無線コンテスト参加
- GSN参加
- 地上局自動追尾システム構築
- APRS通信



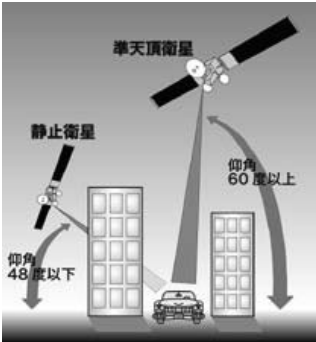

## 今後の活動

### 準天頂衛星「みちびき」の利用実証実験

今月11日に種子島より打ち上げられた

↓

山梨大学の宇宙と通信が利用実証実験に選ばれる

## メンバー募集!!

現メンバー

- 大出 晃弘(コンピュータメディア工学科2年)
- 木内 武志(コンピュータメディア工学科2年)
- 後藤 利章(機械システム工学科2年)
- 中村 文(電気電子システム工学科2年)

講師名

- ◎近藤 英一(機械システム工学科教授)
- 石井 孝明(機械システム工学科准教授)
- ・尾藤 章雄(教育人間科学部教授)
- ・倉島 優一(機械システム工学科助教)
- ・小林 拓(循環システム工学科助教)
- ・本田 建(機械システム工学科教授)
- ・長尾 雅則(クリスタル科学研究センター助教)


説明会:10月1日(金)

時間:15:00～

場所:A2-12教室

募集人数:2～4名

選考方法:書類+面接



## 「クリスタル材料科学」キャリアハウス

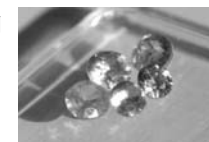
応用化学科2年 井口 雄喜  
 河野 拓人  
 鶴田 高広  
 松原 知宏  
 循環システム工学科2年 河合 巧機

- 1年時後期)バナジン酸ガドリニウム結晶及びネオジムドーブ結晶の合成
- 2年時前期)水晶の合成
- 2年時前期)アモルファスの評価

## 結晶の作製

バナジン酸ガドリニウム結晶、人工水晶

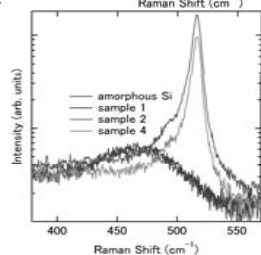
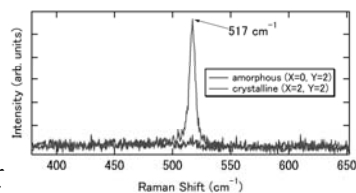
- 1) 結晶の基礎
- 結晶格子等
- 光学特性、圧電性
- 2) 秤量方法・表量計算
- 秤量器具の使用法方等
- 3) 結晶の作製方法
- フローティングゾーン法について
- 水熱法について
- 4) 微量元素の添加
- 金コロイドの添加
- ネオジムの添加



## 結晶の評価

結晶・非結晶のラマン分光測定、X線回折測定

- 1) アモルファスの作製
- 過熱による結晶への変化の観察
- 2) ラマン分光測定について
- \* 原理に説明
- 3) X線回折法について
- \* 原理説明



## 本キャリアハウスの受け入れ体制

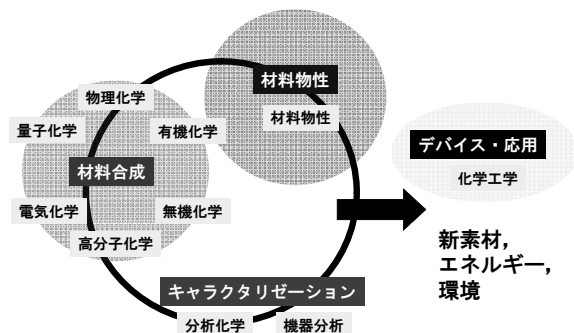
- 教員組織(大学院附属クリスタル科学研究センター)
  - 代表 田中 功
  - 副代表 熊田 伸弘
  - 細谷 正一, 綿打 敏司, 武井 貴弘, 米崎 功記, 長尾 雅則
  - 中川 清和, 山中 淳二, 有元 圭介
- 受け入れ人数: 5名程度
- 定員を超えた場合の選抜方法: 書類審査および面接審査
- 説明会
  - 日時: 10月6日(水) 午後4時30分から
  - 場所: クリスタル科学研究センター1階会議室

# 1-E 先端応用化学

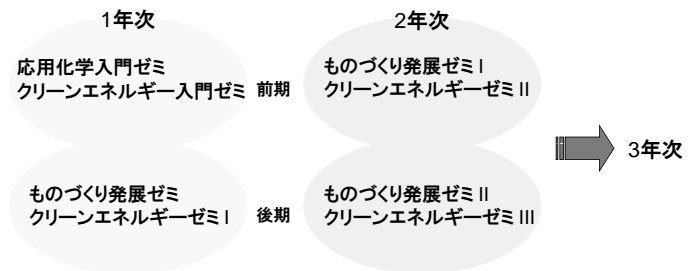
ハウス説明： 随時、総合研究棟5階506号室(宮嶋)まで

## 1E 先端応用化学

「新素材」、「エネルギー」、「環境」といった21世紀における人類の繁栄に不可欠なテーマを、化学及びその周辺分野に関する基礎学習・研究を通じて体験し、早期の段階から「ものづくり」に卓越した研究者の育成を目指す。



これまでの取り組み



教員リスト：21名

【応用化学科】

原本 雄一郎（代表），川久保 進，柴田 正実，鈴木 章泰，和田 智志，奥崎 秀典，桑原 哲夫，阪根 英人，柳 博，小泉 均，谷 和江，小幡 誠，米山 直樹，中島 光一，宮嶋 尚哉（副代表）

【クリーンエネルギー研究センター】

入江 寛（副代表），内田 裕之，宮武 健治，佐藤 哲也，野原 横士

【機器分析センター】

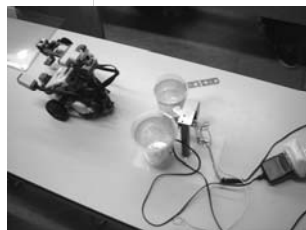
鈴木 保任



成果報告発表会の模様  
2日間にわたり、各ゼミでの研究内容について、各自PPTを用いて説明し、約5分間で質疑応答まで行った。

聴講者は、発表内容の分かり易さや質問への対応などを5段階で評価した。

研究内容の1部  
LEGO教材を使ったロボット(左)  
自作目覚まし時計(右)



## 募集要項

- ・募集人数：2名
- ・開講日時：後期月曜日 ， 限  
前期火曜日 ， 限  
↓  
両期受講可能者のみ採用  
(入門ゼミ，ものづくりゼミの枠組内)
- ・採用基準：GPAを判断材料とする

相談窓口：詳細を希望の方は、総合研究棟5階506号室(宮嶋)まで。

## 2-A 人の感性とユニバーサルデザイン

### 「人の感性とユニバーサルデザイン」って... 何をするハウス?

- “感性工学”と“ユニバーサルデザイン”という二つの側面から“人にやさしい工学”を目指す



ハウス説明会:10月8日(金), 於:A2-12教室

### 人にやさしい工学

でも人間って、多角的。

多種多様な学科の先生・学生が参加しています。

#### 参加教員

大木 真(ES), 森澤 正之(KM)  
秋津 哲也(ES), 宇野 和行(ES)  
岡村 美好(CE), 小澤 賢司(KM)  
小俣 昌樹(KM), 加藤 初弘(MS)  
阪田 治(ES), 藤間 一美(ES)

様々な分野の知識が身につきます!

是非たくさんの学科からの参加を待っています^^

#### 参加学生

高木寛也(ES), 芦沢真吾(ES),  
三浦汐織(BT), 鶴飼健真(JJ)

### 実際の活動

- 09年度生の活動...ユニバーサルデザイン、感性工学に関する講義、脳波測定、聴覚可聴域の測定、車いすの振動測定実験etc
- 上記の事以外にも、プラスチック光ファイバを使ったセンサ、水晶振動子、バイオセンサー、ジャイロセンサー、音の特徴を強調するデジタル信号処理等が出来ます。



### 募集について

受入人数:3人

定員を超えた場合は提出書類で  
選考します。(必要に応じて面接を  
行います)

説明会:日時:10月8日(金) 17時から  
場所:A2-12教室





## 大学の油田 バイオディーゼル燃料 (BDF: BioDiesel-Fuel)

担当教員 竹内 智、依田 英介  
参加学生 高橋 慎伸

### 参加するメリット

- 身近な環境実践の取り組み
- 廃棄物のリサイクル活動
- 学年を越えた交流活動
- 循環ガールズ との共同作業

## BDFとは？

- BDFとは、廃食用油から精製される軽油代替燃料のことで、カーボンニュートラルの考えより再生可能エネルギーとして利用されている。
- 山梨大学では、学生食堂などから廃食用油を回収し、それをBDF精製装置でKOHを触媒として、メタノールと反応させBDF精製をおこなっている。



山梨大学BDF精製装置

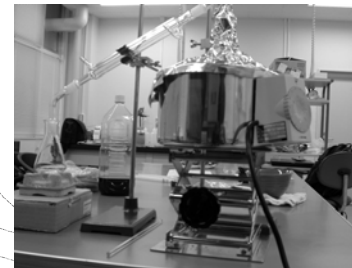
## 今までの活動内容

- BDFの精製、エコ石けんづくり
- 廃グリセリンの活用先の模索
  - 助燃材としての利用可能性  
薪ストーブでの燃焼



## 今までの活動内容

- メタノールの回収  
蒸留装置による回収



## 募集要項

- 募集人員：数名  
(人数多の場合は面接で選考)

- 説明会  
9月27日(月)  
12:15~  
B1号館3階339  
竹内研究室BDF実験室

## CO<sub>2</sub>FREEやまなし

- 「CO<sub>2</sub>Freeやまなし」とは再生可能資源だけを利用して**持続的に発展し、二酸化炭素を増加させない社会**を目指すハウスです。
- 鈴木嘉彦(代表)・宮川雅至(副代表)・北村眞一  
御園生拓・豊木博泰・伊藤一帆・門野圭司・金基成  
島田洋一・高橋智子・長谷川直哉・佐々木邦明  
石井信行・武藤慎一・武田哲郎
- 笠井知世(循環システム工学科)
- ハウス説明会: 日時→2010年10月5日(火)5限  
場所→B-1号館2階循環システム工学科多目的室
- 受け入れ人数: 各学年若干名  
定員を超えた場合は参加申込書の志望理由と志望動機書類選考、必要に応じて面接を行います。

1

## 3年間の流れ

- 1年次後期にはエネルギー問題、公共交通問題・政治・経済・経営問題の3つの中から興味のある分野と担当教員を選び、研究テーマを決定します。
- 2年次には本格的に研究をスタートします。資料などを集めたり現地調査へ行くなど現場での体験学習を行いデータを集め、それらをもとに研究を進めていきます。
- 3年次には2年次に集めたデータから明らかになったことと山梨県のCO<sub>2</sub>排出量の現状を理解しながら、地域資源とエネルギーの制約下で、地域の風土と産業の特性を生かしてどのような新しい付加価値を作り出し利用すれば、CO<sub>2</sub>Freeやまなしを実現できるのかを考えます。
- 1~3年を通して、資源とエネルギーは様々な産業と深く関わりあっていることを学ぶことで、持続可能な地域づくりの意味を理解し、地域社会や産業のリーダーとしての資質がつくられるような学習を行っていきます。

2

## 研究内容

- 交通グループ・北村研究室
- 研究テーマ  
「地方小都市での交通利便性とCO<sub>2</sub>(化石燃料)対策」
- 地方小都市として山梨県南部にある身延町を取り上げ研究を行っています。身延町は高齢化・過疎化が進んでおり、山間部に住んでいる人も少なくないため限界集落が多く存在しています。そこで、身延町の交通の現状や、町としてはどういう手段で交通弱者に対応しているのかを調査しています。
- 身延町の交通手段を調べるとともに、町内の各地区における年齢別人口データと交通網をもとに公共交通でのカバー率を調べています。
- さらに、身延線の利用実態も合わせて明らかにし活用方法を検討していきます。

3

- 身延線と同様に小都市を結ぶ鉄道沿線として小海線沿線及び飯田線沿線の小都市を取り上げ、身延町と比較しながら交通問題を検討していきます。
- また、それぞれの輸送機関がどのくらいのCO<sub>2</sub>を排出しているのかを調べ、最終的にどの交通手段を主に使用していけばCO<sub>2</sub>Freeやまなしを実現することができるのかを検討していきます。

最後に・・・

これはほんの1例にすぎず、このハウスには15人もの様々な分野を研究している教員がいるので、自分の興味のある研究が見つかると思いますよ^^  
ぜひハウス説明会へ!!



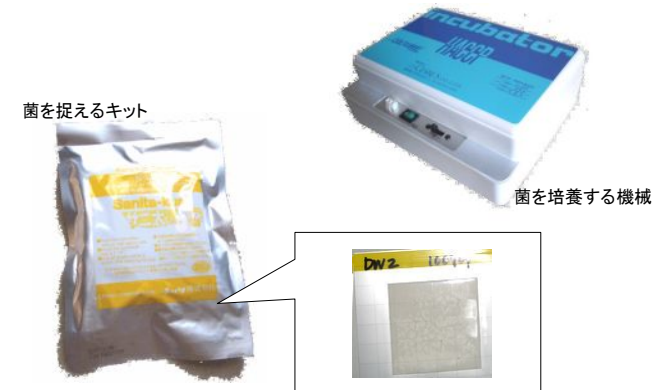
4

## 2-D 国際水環境課題の発見

## ハウスの特徴

アジアには、水環境をはじめとし、生活基盤が劣悪な国や地域が少なくありません。その改善に向けて、日本は今後も国際協力を行っていく必要があり、現地の人々とともに問題解決に努力できる人材が求められています。このハウスでは、主として国際流域総合水管理特別コース(博士課程)に在学しているアジアの各国からの留学生たちとの交流を通してアジア諸国の実情を知るとともに、それらの国々で顕在化している問題の本質を探ります。またそれらの問題の解決にはどのような学術的な知識や研究が役立つかを理解し、学術を通じた国際協力の重要性を理解できる人材を育成したいと考えています。

## 実験道具



## 実験結果




…今後はどこの水にどれくらいの菌がいて、日常生活の中で、消毒がどれほど効果的かを調べてみる。

## その他概要

- ・受入人数... 2~4名
- ・定員を超えた場合の選抜方法...  
複数の担当教官による面接
- ・ハウス説明会:10月5日(火), 16:30~  
於:B2-228実験室

・参加教員名...  
砂田憲吾・坂本 康・風間ふたば・大石 哲・  
石平 博・市川 温・森 一博・西田 継・岩田智也・小林 拓・下川敏雄

・活動中2年生...  
土木環境工学科;水野寛之  
循環システム工学科;武田友里・坂本郁



## キャリアハウス フォトニック&ワイヤレスシステム

このキャリアハウスでは・・・

**・ICT技術に関連した実習メニューで基礎的技能を習得  
・早い段階から新技術に関連する研究を進行**

今需要が増えつつある情報通信技術(ICT)のエンジニアの育成

それも  
革新的ICT技術を生み出せるエキスパートを育成








## 担当教員




教員名	所属・職	専門
大木 真	電気電子システム・教授	デジタル信号処理
埴 雅典(ハウス代表)	電気電子システム・准教授	光ファイバ通信/無線システム
垣尾 省司(副代表)	電気電子システム・准教授	光制御デバイス
本間 聡	電気電子システム・准教授	光信号処理
佐藤 隆英	電気電子システム・准教授	集積回路
金 蓮花	機械システム・准教授	光計測
中村 一彦	電気電子システム・助教	無線通信
關谷 尚人	電気電子システム・助教	高周波デバイス
所属学生	学科	学年
秋山 翔平	電気電子システムSコース	2年



## 実習内容





**1年次後期** 基礎実習メニューを通じて基礎的な知識と技能を習得します。

**2年次前期**


実習メニューの例

- 光制御素子の作製方法と特性評価
- 弾性波を用いた周波数制御素子の作製方法と特性評価
- マイクロ波フィルタの作製方法と特性評価
- ホログラムの多重記録と評価
- アナログ回路の設計・製作・評価
- 高速光ファイバ伝送システムの構築と評価
- 無線センシングシステムの構築と評価
- 光計測システムの構築と評価



**2年次後期** 教員団と相談しながら研究テーマを一つ選定し、基礎的な検討を行います。

**3年次通年** 研究を継続し、1年間の研究の成果を春の学会で発表することを目指します。



## 説明会について

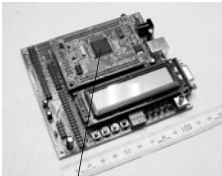
説明会日時	10月1日(金) 16:30~18:00
場所	T1-12教室
受け入れ人数	4人
定員をこえた場合	定員4名をこえてしまった場合も準構成員として一緒に活動できるよう考えていますので興味がある方はお気軽にお申し込みください

### 3B マイコン応用機器開発

ハウス説明会:10月4日(月)16:30, 於:A1-31室

UNIVERSITY OF YAMANASHI  
**Robotics & Automation**

## 組込システム




現在使われている器具や機械のほとんどはマイクロコンピュータ(マイコン)が使われている。

コンピュータが無くては、ほとんどのものは動かないといっても過言ではない

↓

自動車などでは数十個から百個以上のマイコンが用いられている。  
コンピュータの中心となる部分をCPUと呼ぶ



マイコン

各種の機械や機器に組み込まれて、その制御を行うコンピュータシステムを組み込みシステムと呼ぶ

2010/9/22      マイコン応用機器開発      1

UNIVERSITY OF YAMANASHI  
**Robotics & Automation**

## 組込みシステムの例 自動車



エンジンコントロールユニット      計器表示      パワーステアリング      オートマチックトランスミッション

カーナビ      オーディオ      エアコン      パワーウインドウ

エンジンコントロールユニット      マイコンコントローラ      アンチロックブレーキシステム

自動車には数十個のコンピュータが使われている

すべてが組み込みシステム

車の構成技術のうち60%が電気電子・情報系の技術

2010/9/22      マイコン応用機器開発      2

UNIVERSITY OF YAMANASHI  
**Robotics & Automation**

## キャリアハウスの目標

◆ 機械・電気・情報の壁を超えてつながる技術者の養成


目標を実現するため……

電気電子システム工学科


機械システム工学科

コンピュータ・メディア工学科


3学科の教員が共同で指導する



電子回路製作



プログラミング



機械加工



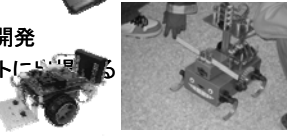
2010/9/22      マイコン応用機器開発      3

UNIVERSITY OF YAMANASHI  
**Robotics & Automation**

## 実習内容の概要

- ◆【1年次後期】  
電子工作, 機械加工の基礎, 組み込みシステムの開発の習得  
簡単な電子回路製作技術の習得  
AVRマイコンを使い, マイコン回路の製作やプログラミングの基礎を習得する
- ◆【2年次】  
組込機器を設計開発するための基本的なスキル  
ライントレースロボットの製作
- ◆【3年次】  
機械と電子回路, およびソフトウェア設計と開発  
受け入れ型のロボットを作ってロボットコンテストに出場する  
希望者がハウスの定員を超えた場合は抽選とします

説明会 10月4日(月) 16時30分 A1-31室

2010/9/22      キャリアハウス, マイコン応用機器開発      4

機械システム工学科      教授;大内英俊(副代表), 古屋信幸.      准教授;寺田英嗣, 石井孝明.      助教;石田和義, 堀井宏祐, 倉島優一, 伊藤彰人

電気電子システム工学科      教授;清弘智昭(代表)      准教授;小谷信司      助教;渡邊寛望

コンピュータメディア工学科      教授;関口芳廣, 宗久知男, 大淵竜太郎      助教;丹沢勉

## 3C:情報システムマネジメント

- コンピュータメディア工学科 赤池 拓也 ・ 川戸 将輝
- 計算機実習室の管理及びシステム開発
  - 現在開発中のシステム
    - 計算機実習室内でのトラブル報告システム
    - 計算機実習室内の防犯カメラシステムの改善
- 情報処理技術者試験の勉強
  - 情報処理技術者試験は多くの社会人が取得を目指す人気の試験

## 開発中のシステム

- 防犯カメラ活用システム
  - 計算機実習室内での不審者を発見する
  - マナー違反者がパソコンを破損する可能性を少なくする
  - 計算機実習室内のマナーと安全性の向上
- トラブル報告システム
  - 計算機実習室でおきたトラブル(印刷できない等)を簡単に報告できるシステム
  - トラブルの情報を蓄積しリアルタイムで共有できる

## 参加学生募集要項

- 募集人数:3~6名
- 選抜方法:書類審査(参加申込書を利用)
- 選抜基準(どういう学生に参加してほしいか)
  - 責任感がある学生
  - 他の学生と協力してシステムの管理ができる学生
  - 情報処理技術者試験などの学習意欲がある学生
- 詳しくは個別説明会で説明します

## 個別説明会

- 日時:
  - 10月08日(金)17:00-17:30
- 場所:
  - A3号館 3階 計算機実習室
- 注意
  - 応募希望者は必ず個別説明会に出席してください。
  - 個別説明会当日の正午までに(鈴木)ysuzuki@yamanashi.ac.jpへ説明会参加の連絡をお願いします。
  - 個別説明会に出席できない人については個別に対応します。

### 本キャリアハウス担当教員

- 鈴木 良弥 ■ 小澤 賢司 ■ 美濃 英俊 ■ 服部 元信 ■ 高橋 正和 ■ 小俣 昌樹
- 郷 健太郎 ■ 渡辺 喜道 ■ 小林 正樹 ■ 安藤 英俊 ■ 吉川 雅修 ■ 木下 雄一
- 茅 暁陽 ■ 森澤 正之 ■ 福本 文代 ■ 鍋島 英知 ■ 西崎 博光 ■ 山本 泰生
- 豊浦 正広

## 放送局を作ろうプロジェクト (梨らぢ)

定例ミーティングを毎週水曜日の5時限目に行っていますので

プロジェクトルーム (A-1号館440号室) にお越しください。

場所が分からない場合には、事前にメールをください。

メールアドレス：

dempa@hci.media.yamanashi.ac.jp



### 参加メンバー

- 教員  
郷 健太郎  
小俣 昌樹
- 工学部  
コンピュータ・メディア工学科2年生  
秋鹿勇祐 五十嵐拓臣  
清水陽介 杉浦拓朗  
塚原将太 樋川達也  
森淳 渡邊一樹

9/22/2010

### 定例ミーティング

- 時間 毎週水曜日5時限目
- 場所 プロジェクトルーム  
A-1号館440号室

※場所が分からない場合には、事前にメールをください。  
dempa@hci.media.yamanashi.ac.jp

9/22/2010

### 受け入れ人数

5名程度

定員を超えた場合は、申請書内容と活動状況に応じて選抜。

9/22/2010

## 所属メンバー紹介

石井信行先生 (土木環境工学科准教授)

機械システム工学科 2年 伊藤大貴	土木環境工学科 2年 山崎岳洋
循環システム工学科 2年 今井直子	応用化学科 1年 市川忠行

- 平成22年度受け入れ人数 4名 (うち1名活動中)
- 定員超えの場合の選抜方法は、申込書類の内容と仮所属期間の取り組み態度により、来年度の予算申請時に最終決定。

## 目的と目標

- ◆甲府の街にある空き店舗はさみしい印象を与え、景観を損ねている。甲府の街に以前のような活気を取り戻す助けとなるために、空き店舗を再びお店として生まれ変わらせる。(リノベーション)
- ◆来年度には1店舗を開店する予定。  
(自分達で経営するわけではない)  
自分たちでお店をデザインし、経営者となってくれる方を募って、店舗像を提案し、開店していただく。

## 活動

- ◆店舗のデザイン  
→設計やデザイン力が身に付く
- ◆お店や街の調査
- ◆視察(金沢、松本)  
→社会人と話す機会が増える
- ◆経営者にデザインを提案  
→プレゼンテーション能力が身に付く  
→経営やマーケティングについて学べる

## 少しでも興味のある人は是非!

◎説明会  
定期ミーティングの際に行いますので、事前に問い合わせをお願いします。  
(場所: B2-414)  
✉ [akitenpo-tr@yamanashi.ac.jp](mailto:akitenpo-tr@yamanashi.ac.jp)  
◎HPにアクセスしてみてね♪  
🌐 <http://www.ccn.yamanashi.ac.jp/~prkofu/>



キャリアハウス くわしい説明会の日時と場所

	ハウス名	くわしい説明会の日時と場所			募集人員
1A	nanoやまなし	10月14日(木)	16:30~18:00	T1-21教室	4名程度
1B	ナノバイオテクノロジー	10月14日(木)	16:30~	T1-22教室	2名程度
1C	宇宙と通信	10月1日(金)	15:00~	A2-12教室	2~4名
1D	クリスタル材料科学	10月6日(水)	16:30~	クリスタル科学研究センター1階会議室	5名程度
1E	先端応用化学	随時		総合研究棟5階506号室(宮嶋)まで	2名
2A	人の感性とユニバーサルデザイン	10月8日(金)	17:00~	A2-12教室	3名
2B	バイオディーゼル燃料	9月27日(月)	12:15~	B-1号館3階339 竹内研究室BDF実験室	数名
2C	CO <sub>2</sub> Freeやまなし	10月5日(火)	5限(16:30~)	B-1号館2階循環システム工学科多目的室	若干名
2D	国際水環境課題の発見	10月5日(火)	16:30~	B2-228実験室	2~4名
3A	フォトニック&ワイヤレスシステム	10月1日(金)	16:30~18:00	T1-12教室	4名
3B	マイコン応用機器開発	10月4日(月)	16:30~	A1-31教室	4名程度
3C	情報システムマネジメント	10月8日(金)	17:00~17:30	A-3号館3階計算機実習室	3~6名

ベンチャーハウス くわしい説明会の日時と場所

	ハウス名	くわしい説明会の日時と場所			募集人員
	放送局を作ろうプロジェクト(梨らぢ)	毎週水曜日	5時限	プロジェクトルーム(A-1号館440号室)	5名程度
	「空き店舗リノベーション」PR-KOFU	定期ミーティングの際に行いますので、事前に問い合わせをお願いします。 (場所: B2-414) ✉ akitenpo-tr@yamanashi.ac.jp			4名(うち1名活動中)

## キャリアハウス参加申込書

※平成 22 年 10 月 15 日 17:00 までに、工学部教務係窓口 (A2-21 教室向かい) に提出してください。

申込書記入日：平成 22 年 月 日

所属学科・学年			
学籍番号		電話番号	
氏名・フリガナ		性別	
	第1希望	第2希望	第3希望
希望キャリア ハウス名			
キャリアハウスプロジェクトへの参加希望理由 (このプロジェクトに参加してみようと思った理由を書いて下さい。字数の制限はありませんが、次の「志望動機」と合わせて、実習申込書が1ページに収まるようにして下さい。)			
キャリアハウス志望動機 (第1希望のハウスについて、このハウスを志望する動機について、自身の興味ある分野や将来就きたい職種、将来やってみたい研究等と関連させるなどして自由に書いて下さい。)			
前期 GPA 値 (小数点以下 1 桁まで)			

## ベンチャーハウス参加申込書

※平成 22 年 10 月 15 日 17:00 までに、工学部教務係窓口 (A2-21 教室の向かい) に提出して下さい。

申込書記入日：平成 22 年 月 日

所属学科・学年			
学籍番号		電話番号	
氏名・フリガナ		性別	
希望ベンチャー ハウス名	第1希望	第2希望 (「第1希望」しかない場合には記入不要)	
ベンチャーハウスプロジェクトへの参加希望理由 (このプロジェクトに参加してみようと思った理由を書いて下さい。字数の制限はありませんが、次の「志望動機」と合わせて、申込書が1ページに収まるようにして下さい。)			
ベンチャーハウス志望動機 (第1希望のハウスについて、このハウスを志望する動機について、自身の興味ある分野や将来就きたい職種、あるいは将来やってみたい研究等と関連させるなどして自由に書いて下さい。)			